



会 議 録

会 議 の 名 称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会
開 催 日 時	令和元年 5 月 9 日 (木) 開会：18 時 30 分・閉会：19 時 20 分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2A 会議室
出席者 (委員) 氏 名	野口智子、藤井尚子、栗原 肇、藤野貴士、石島弘美、千島万里 江、木村洋良、淵上通子、大山恵巳、吉岡隆秀、川島 治
欠席者 (委員) 氏 名	松原克彦、江袋文紀、 ※溝上俊亮、加藤里美 (「私の人生ファイル」紹介 VTR 撮影)
事 務 局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑
会 議 内 容	1. MCS (メディカルケアステーション) の普及状況 2. 「わたしの人生ファイル」について 3. 「わたしの人生ファイル」に関する医師会フォーラムパネル 展示について
会 議 資 料	(資料名・概要等) 患者情報共有/ICT 部会資料、「わたしの人生ファイル」(現物)
そ の 他 必 要 事 項	
会議録の確定	
確定年月日	主宰者記名押印
令和元年 6 月 13 日	野口 智子  藤井 尚子 

	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	【開会】
野口委員	患者情報共有・ICT部会を始める。
川島会長	健康フォーラムを6月9日に行う。テーマは私の人生ファイルで、パネル展示等や松原先生と私の講演で紹介するので是非参加してほしい。
藤井委員	ありがとうございます。一番目のMCS普及状況について。
野口委員	現在動いているのは6件、全て栗原先生が関わっているケースとのこと。電話の方や口頭の方が便利という意見があり、なかなか普及しない状況、どうしたら良いでよいでしょうか。
川島会長	医師会の理事会で根本先生と池畑先生にお願いしてある。2人共、電話の方が良いと言っている。
栗原委員	介護関係の人が先生に作ってと言えれば。紙と鉛筆の先生に言っても無理、やっても1銭にもならないし、連携加算があればやるだろうけど、やるかは先生の判断。
野口委員	栗原先生は使っていて便利ですか。
栗原委員	便利だと思うが、介護側は？
野口委員	凄く助かっている。

藤井委員	M C S を使った方はいますか。
千島委員	連絡事項が文章なので聞き間違いがない。こうして欲しいとかの聞き間違いとか勘違いが、見直しができるので良い。
石島委員	違う所との共有はしやすい。
栗原委員	医者に電話するのも介護側はハードルが高い、聞いて良い事なのか迷う、それを相談できるのは良い。そうならない内に相談できるのは、医者にとっても良い。お尻の皮が剥けていると言って、写真を送るとか便利。そこに活かせるのにどうしたら良いかと言われても先生の考えがある。
野口委員	川島会長、何かありますか。
川島会長	医師の責任だと思っている。代替わりし若い松原先生などが対応して欲しい。メールが得意でない人に言っても難しい。少し時間を頂いて出来る先生を増やしていく。
藤井委員	引き続きM C S についてはフォローアップしていく、何か情報があればこの場でお願いします。2 番目の項目私の人生ファイルについて。ファイルは全員もらって良いですか。
柴崎推進幹	ファイルを作っていただいた皆さんには、ぜひファイルを持ち帰って普及に努めて欲しい。
淵上委員	紙が丈夫で驚いた。コピー用紙かと思っていたので、良いのが出来て感激している。
千島委員	イラストが入っているのでやさしい。絵が入っているのが良い。

大山委員	同じです。
藤井委員	使いたくなりそうですか。
石島委員	シンプルで良い。
淵上委員	赤がきつい色でないから良い。
野口委員	在宅の人が病院へ診察のとき持って行ったら役立つか。
栗原委員	役に立つと思う。
藤井委員	お薬手帳のポケットもある。ケアプランも入れられる。使い方も意見欲しい。
吉岡委員	立派だと思う。カバンに入れるには少し大きい。
藤野委員	見本より色も良い。内容は皆でもんだ内容だしカラフルで良い。
木村委員	見やすい。紙を変えてファイルにしたら見やすい。
藤井委員	好印象で良かった。医師会のフォーラムで松原先生に説明していただき、パネルでも人生ファイル紹介して頂く予定。行田人にも紹介したい6月予定。私の人生ファイル、介護保険の使い方を研修素材として寸劇をやっている。それ以外に事務局で研修とかも考えているとのこと。
柴崎推進幹	医師会で6月9日にフォーラムの中でご紹介頂いて、7月に研修部会で研修、実際に使う事業所、多職種に向けた説明会を1回、

	<p>その他ケアマネジャーについては、ケアマネ連絡会にて9月に1回行いたいと考えている。包括に向けてはスタッフ会議で8月～9月のタイミングで説明会を行いたい。全体、包括向け、ケアマネ向けの説明会、管理の仕方、配布方法について周知を進めて行く。</p>
藤井委員	<p>先程の全体向けの研修は「ふらっと（研修作業部会）」の研修以外にですか。</p>
柴崎推進幹	<p>「ふらっと」の研修は映像で流しますが、医師会のパネル展示の時の説明会、こういった目的で作って、どういう風に広めていくか、一度説明会、研修会を行いたいと考える。</p>
藤井委員	<p>他に何かありますか。配布対象は、元々は在宅療養に入った方と考え、これまで部会では要支援の人からと考えていました。在宅療養の人は配るとして、他の条件として要介護、要支援、事業対象者、一般の方など対象者の詳細は決定していません。</p> <p>作ったのは全部で900部ですか。</p>
事務局（萩原）	<p>周知用も含めて1000部</p>
藤井委員	<p>200部ずつ5年かけて配る感じか？配布対象はどうするか。</p>
栗原委員	<p>分からない。要介護の人は何人くらいか。</p>
柴崎推進幹	<p>3,000人くらいです。</p>
川島会長	<p>エンディングノートなら在宅の人だけでなくてもよい。ファイルを多職種連携の資料とするなら在宅の方であれば皆で使いやす</p>

	<p>い。包括でただ一人暮らしだからと渡しても活用されないと困る。包括が入って、後は事業所でこの人なら書ける、趣旨を理解頂いて配る人がこの人なら書いてくれる活かせる人に配る。</p>
柴崎推進幹	<p>会長からもありましたが、ただ配って終わりというのではなく、渡す時に、どう使ってもらいたいのか説明し、使ってみたいとこのファイルの機能をご理解頂ける人に使って頂きたい。在宅療養、地域包括ケアとかに興味ある方なら断れないが、目安は決めて理解ある人に配りたい。</p>
栗原委員	<p>デイサービスで、私もらったと言ったら広まってしまう。</p>
吉岡委員	<p>1年200部だと事業所数から考えて少ない。</p>
藤井委員	<p>1年目はモニターとして、要介護の人から何人とか、選別は包括や事業所で活用できそうな人がいたら包括に問い合わせ頂くとか。</p>
柴崎推進幹	<p>どういう人がこのファイルの利用者として活用できるかを、包括が判断するというのはすぐわない。包括も聞かれても判断しかねる。どの人に配ったら活かしてくれるかは利用者と接している事業所のほうが良いと思う。仮に使われなかったとしても、その時考えれば良い。対象はあくまで目安。誰に渡すかは関わっている人に決めてもらうことが良いと思われる。</p>
藤井委員	<p>判断は必ずしも包括だけではなく、身近な事業所も含めるのか。</p>
柴崎推進幹	<p>包括だけでは判断しかねる。仮に渡して使われなくても、判断を間違ったというのは違う。</p>

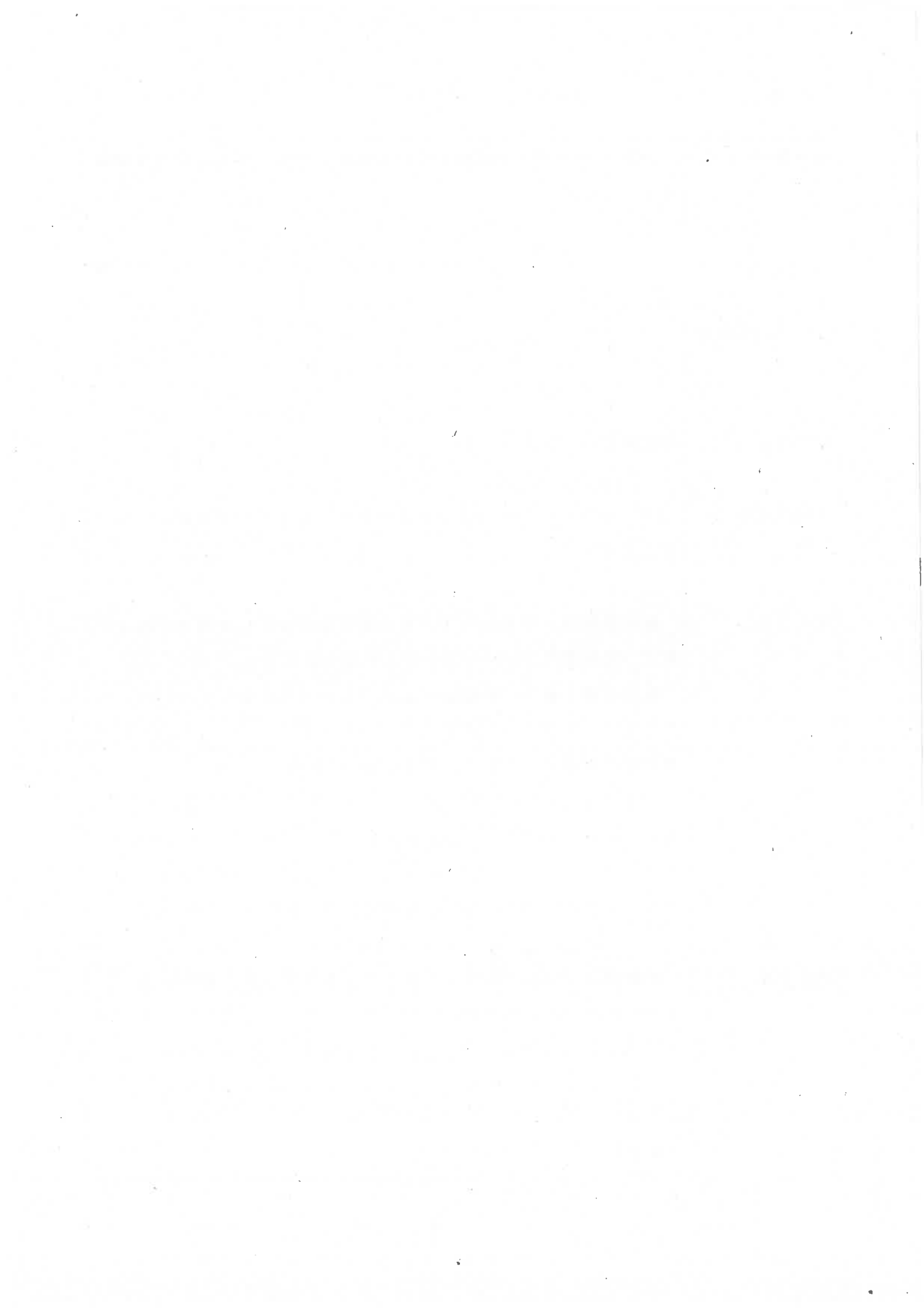
野口委員	5年かけて1年200部ずつの配布は決まっているのか。
柴崎推進幹	あくまでも目安。
野口委員	家族がいない一人暮らしの人にも渡したい。ご家族から意見が聞けない、ご家族が関わっていない場合もこのファイルを見れば多職種やご家族が理解できる。初年度は200に限定しないで欲しい。
柴崎推進幹	もともと1年200で5年1000としていない。継続性も重要。
川島会長	誰に配って、登録してフォローアップできるか、配るなら情報を登録してフォローやアンケートなど市では把握すべきと考える。
柴崎推進幹	会長の言うとおりの、ただ配って終わりということは考えてない。誰に渡したかフォローアップは確認して記録する。その中で市はその役割を担う。市1ヵ所で配るのは不便。包括に協力してもらい、市、包括で事業所に必要部数渡す。その都度取りに行くのが難しいなら、事業所がまとめて持って行っても、誰に渡したか連絡、記録が必要。
藤井委員	ある程度、活用してもらうためには配布後のフォローがいる。ファイルの配布状況について報告含めて履歴があると良い。管理に関しては市で行うこととした場合も、利便性考えると包括にもファイルを用意してもらうのは良い。配布する高齢者については事業所で判断し、市や包括にファイルの申請をして配布実績を市や包括などで管理してもらうことではどうか。

柴崎推進幹	包括で配るのは了解得ているが、配布の方法、細かい配布方法は包括ともまた詰めたい。今後示す。
吉岡委員	市と包括で配布するのは決まっているのか？
柴崎推進幹	市と包括が配布場所として現実的と話している。
藤井委員	どの人に配りたいかは、事業所の視点が必要。活用できる事業所が配布に関わる。配布管理に関しては市・包括、活用は事業所。仕組みは今後、細かく考えていくことになる。
柴崎推進幹	細かい管理方法、配布方法については、市と包括で了解いただければ、包括と詰めて皆さんにご提案、ご説明できればと思う。
藤井委員	配布管理市・包括でOKなら今後配布する人について今は絞らず、その都度。目安なら、要支援を目安として、それ以外は都度相談するはどうか。
吉岡委員	決まっているならそれでいいのでは？ すでに案が決まっているなら、要支援とか決まっているなら今日の資料に書いておけばよかったのではないかな。その先の案は決まっているのか？
柴崎推進幹	市は要支援以上の対象者イメージしていた。
藤井委員	一般の方や、事業対象どうする？興味あれば誰でも。
吉岡委員	医師会フォーラムで置けば欲しい人増える。

柴崎推進幹	運用開始は、皆に説明してからと思っていた。医師会フォーラムの時は配らない。
川島会長	フォーラムでは現物を見てもらうのみ。エンディングノートを書くだけの様な人が来る。今後〇月〇日に配る。このファイルはこういう目的とかと広報するが、配布は後日と言う。
藤井委員	配布元は、市・包括。事業所はそこから活用で良いか。
野口委員	1 事業所はいくつまでとかあるか？
柴崎推進幹	事業所に配るものではないので、いくつとか制限ない。
野口委員	在宅をやっていると皆に必要だと思う。とは言え、50部～100部必要と言われても大丈夫か。
柴崎推進幹	主旨を理解してもらえらるなら、50部～100部でも問題ない。
野口委員	1 事業所で？
柴崎推進幹	そうだ。勧められてもらったけど、使わないとかなければ。
吉岡委員	他市は？秩父市は、どれくらい配った。
柴崎推進幹	1000部位、思ったより早くはけて、1000部増刷。
吉岡委員	増刷可？
柴崎推進幹	増刷は出来るが、ただ配布するイメージではない。

藤井委員	需要あれば1000部ならいける。
吉岡委員	介護認定受けている人から見ればいない。
藤井委員	ファイルに書いて活用できるか。配布対象は活用について分かる人へ配布。もう少し分かり易い目安が必要？配布対象者をちゃんと把握しないとケアマネジャー・事業所ともに配布してしまい重複にもなる、ケアマネジャー管理にすれば重複しない。利用者に配布する職種は認定受けていればケアマネジャー。認定受けていない在宅療養はどうする？
栗原委員	認定受けていない在宅療養者はいる。
野口委員	市外のケアマネジャー使っている人もいる。
吉岡委員	包括の方が対象多くて大変では？
石島委員	ピンクの所をケアマネジャーが書かないといけないのも負担なのでは。
地域包括支援 センター緑風 苑 栗原管理 者	介護事業者が関わっていく中でファイルの情報を作成していくのが目的。要支援とか要介護の介護度の判断だけで活用できるとは限らない。元気なデイサービスのみの利用者や家族が近くにいる場合の単身高齢者はどうか、など個々の相談になる。介護5でサービスを使っている人が使うかは分からない。今どういう人が配布対象と言うのではなく全体の事業所説明した後、市が中心となって、包括が窓口となるがケアマネジャーと相談して配布で良いと思う。

藤井委員	ケアマネジャーが関わっている方々。それ以外の方は今後課題として相談。
地域包括支援 センター緑風 苑 栗原管理 者	ケアマネジャーいないターミナルの人もあるが、まずは要介護 委認定された方からが良いと思われる。
藤井委員	配布時期の目安は？
柴崎推進幹	ケアマネジャーに対する研修は9月。9月の研修が終わってから 10月頃？
藤井委員	<p>配布開始は10月からで、その間に活用方法と検討できればと 思う。配布後のフォローアップとかも今後考える。</p> <p>次に次第3番目、医師会フォーラムのパネル展示について、人 生ファイルの各ページを割り当てて各事業所に関わってもらい活 用方法や使用例、記入例の作成に協力して欲しい。</p> <p>次第、5番目、行田人での「わたしの人生ファイル」の紹介。 写真はこんな感じで、文書は原案送ってあるが皆の意見が欲しい。 PR内容に要望があればメールして欲しい。修正案・原案にこれ 入れてとか今日・明日までに意見欲しい。意見は必ず欲しい。</p>
川島会長	<p>医師会のフォーラムで「わたしの人生ファイル」紹介する。こ の目的や自分達の事業所が何をするのか分からないとならないよ うにしてもらうために市民というより皆さんの仲間に伝えてもら うためにパネルの展示をやる。自分の事業所の職員に理解しても らいたい。</p> <p>【閉会】</p>



<修正案>

笑顔でいくために『わたしの人生ファイル』←ロゴ？

「わたしの人生ファイル」は、療養や介護が必要になっても、あなたの人生を笑顔で歩んでいただくために作成されました。

ご自身に関わる大切な情報を書き留めておくことによって、療養や介護が必要になった時に、ファイルの情報を基に専門職がどう支援するかを考え連携してサポートすることが出来ます。また、「これからの私」はこれからあなたの人生をどうしたいかを書き留めておくページです。心の中の想いを身近なご家族や療養支援にあたる医療、介護関係者に知らせておくことで、あなたの心に最期まで寄り添った支援を受けることができます。

「わたしの人生ファイル」についてのお問い合わせは（市役所高齢者福祉課の窓口）もしくは（お近くの包括支援センター）までお願いします。

患者情報共有/ICT 部会

患者情報共有/ICT 部会資料
令和元年5月9日

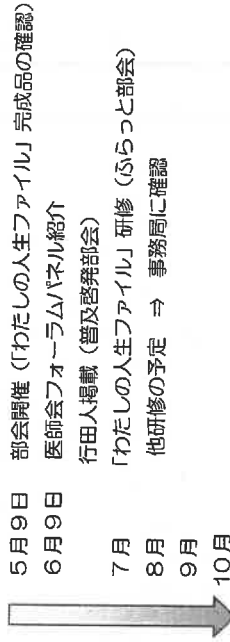
1. MCS（メディカルゲステーション）の普及状況

- ・行田市在宅医療支援センターにて管理されている件数；6件↑
上記に関わっている医療機関および事業所等

医療機関	3件
薬局	1件
事業所	19件
・栗原先生	件

2. 「わたしの人生ファイル」について

2019年4月24日 印刷完了



① 配布対象は？（200部/年ずつ5年程度かけて導入を図る）
在宅療養 ・ 要介護 ・ 要支援 ・ 事業対象者 ・ その他

② 配布場所 ⇒ 事務局に確認

③ 配布の仕方
誰が？
どのように？
説明は？

④ 配布時期 ⇒ 事務局に確認

⑤ 管理方法 ⇒ 事務局に確認

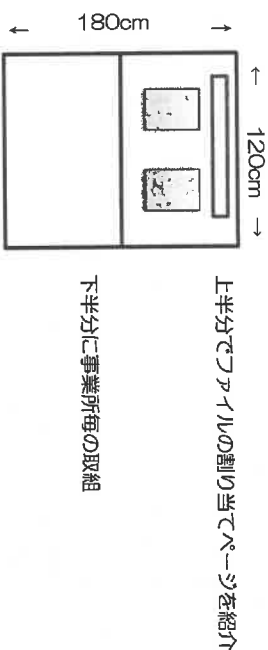
行田人でわたしの人生ファイルのどんなところをPRしたいですか？

・
・
・

- ⑥ 利用状況調査 (フオローアップ)
配布開始後 カ月あたり？

アンケート形式？

3. 「わたしの人生フファイル」に関する医師会フオラム/パネル展示について
フファイルの各ページを医師会フオラムで紹介していただくことになりました。
以下のようなスタイルで各連絡部会の全9枚のパネルに割り当てられています。



＜ページ割り当て表＞

ページ	項目	パネル割り当て
1	カバー	A 包括（事務局）・連 携室
2	「わたしの人生フファイル」とは	B デイサービス
3	目次	
4	基本事項・緊急連絡先	C ショートステイ
5	情報シート①：保険・医療（医・歯・薬）情報	D ケアマネ
6	情報シート②：介護情報	
7	情報シート③：生活状況・自分自身について	
8	情報シート④：健康情報	E 訪問介護
9	現在出来ていること	
10	わたしの状況について①	F リハビリ
11	わたしの状況について②	G 歯科・薬剤
12	家族と他職種との連絡シート	H うさしろ
13	これからの私（表紙）	
14	これからの私（ページ1）	I 訪問看護
15	これからの私（ページ2）	

4. ぶらっと研修部会さんによる研修について
手作りのシナリオをもとに研修部会の委員さんや協議会委員の皆さんにより、介護保険の使い方や人生フファイルやMOS等を題材として寸劇による研修をしていただくことになりました。本日クラシックインです！

5. 行田人に「わたしの人生フファイル」をご紹介していきます。
紹介文と写真は以下になっております。ご確認をお願いします。



＜現案＞

「わたしの人生フファイル」について
行田市医療介護連携推進協議会の作業部会の一つ「患者情報共有/ICT部会」では、「わたしの人生フファイル」を作成しました。

新たに介護サービスを利用しようとするとき、医療機関を受診したときに同じような質問を何度もされた経験はありませんか？

「わたしの人生フファイル」は、様々な環境や身体の変化に応じてあなたの大切な情報を書き留めておくフファイルです。新しい情報を差し込むので、現在の状況だけでなく、経緯や背景を共有することが出来ます。今後、医療や介護が必要になった時に、情報を一冊にまとめておくことにより、より適切な支援を受けることができるようになります。また、「これからの私」はこれからの人生をどう送りたいかという気持ちを記入するページです。より自分らしく最期を迎えるために、医療介護の支援者が気持ちに寄り添って支援することができるようになります。

「わたしの人生フファイル」の配布に先立ち、医介連携協議会の研修部会「ぶらっと」の皆さんによる専門職向けの研修会を予定しています。より多くの方にご活用いただければ幸いです。

頑張る貴方へ **ごほうび** 企画♪

入場 無料 手話 あり 体験 つき

健康フォーラム2019

6月9日 日

開場 午後 0時30分

4時00分

会場：行田市教育文化センター「みらい」文化ホール

第2部>> スペシャルトーク
午後2時15分～ (先着 500名)

三浦 雄一郎 氏
「我が人生の挑戦」



第1部>>
午後1時30分～

貴方の人生のエベレスト(目標・望み)はなんですか?

「わたしの人生ファイル」について 松原医院 院長 松原 克彦

「人生会議」大事なコト、望むコトを
大切な人と

行田中央総合病院 院長 川島 治

午後 0時30分
～1時30分まで

本日限定! スペシャルコーナー

無料! 行列のできる
医療相談所

大評判の先生が、あなたの
悩みにズバリお答えします。

試して ガッテン! どこでもカンタン! エクササイズ♪

“**ロコトレ**”のご紹介

- * 認知症検診
- * 骨密度測定
- * AED体験



これで安心★ 知ってトクする
パネル展示

- * 主治医が 循環器科
みつかる
- * わたしの人生ファイル
実際に手に取ってみましょう。

《主催》 行田市医師会

《後援》 行田市・歯科医師会・薬剤師会・ケアマネ連絡会・訪問看護事業所団体・訪問介護事業所団体
リハビリ連絡会・通所介護連絡会・短期入所事業所団体・うきしろ高齢者サービス事業者交流会
行田市上池守44 電話048-556-8040 (平日9～17時) <http://www.gyoda.saitama.med.or.jp/>

【お問い合わせ】 行田市医師会 〒361-0066

